

数々修習

vol.13

初夏号
平成三十年五月一日発行

- ・住職からの挨拶
- ・「さくら祈願」報告
- ・五月大祭のお知らせ
- ・たなばたコンサート

裏面に
さくら祈願の
フォトライブあり

数々修習とは？

道を求める事、つまり見道・求道を繰り返し繰り返し反復するという意味です。私住職もこのお便りと一緒に熟していただければと思っております。

発行元 本蔵院「数々修習」編集室
〒860-0811 熊本市中央区本荘6-15-50 TEL 096-364-4848 FAX 096-364-9570

私たちの取り組みへのご理解、ご賛同に心より感謝申し上げます



第二十世住職 藏本崇正

こ

の春、ようやく見事に咲き誇ってくれた醍醐桜。熊本の皆様はその姿をお見せすることができ正直安堵しています。

先般行いました第二回さくら祈願では、多数の方のご支援をいただき無魔成満することができました。本紙面でご報告するとともに皆様にあらためて御礼申し上げます。

私たちの活動は、注目されつつあります。さくら祈願当日は地元テレビの密着取材を受けましたし、本山醍醐寺からも宗内の記事にしたいとお申し出もいただきました。僅かな力ではあります。地震によって亡くなられた方、あるいは今も頑張っている方々を忘れ

平成三十年五月吉日
第二十世住職 藏本崇正 合掌

本蔵院からのお知らせ

NEWS 01

5月の月例護摩祈願 大祭にぜひご参加ください

お不動様のご縁日となる28日の月例護摩祈願。毎月多くの方にご参拝いただいております。1年のうち、1月、5月、9月の3回は「大祭」として、参拝者の「内拝」も行っています。自らの手で護摩木をお不動様の智火(ちか)に投じていただく内拝は、身が引き締まる思いがするという声をいただいております。もちろん祈願の後には、坊守手作りのお接待をご用意しております。皆様お誘い合わせのうえご参拝ください。



5月の月例護摩祈願大祭

- 開催日 5月28日(月) 13:00~
- 場所 本蔵院 本堂

※駐車場が少なく、皆様にはご迷惑をおかけしております。公共交通機関の利用か付近のコインパーキングの利用をお願いいたします。
※参加申込み、詳細については同送のチラシをご覧ください。

NEWS 02

2年ぶりの開催です たなばたコンサートお楽しみに!

2015年、2016年に開催した「たなばたコンサート」を、今年2年ぶりに開催することにいたしました。住職が自慢ののどを響かせます。どんな歌が披露されるかご期待ください。当日は百万遍念珠会や、七夕の飾り付けなども行います。アイスクリームやおまんじゅうのお接待もあり! 家族そろって楽しめるコンサートです。ぜひお越しください。



たなばたコンサート

- 開催日 7月7日(土) 10:30~
- 場所 本蔵院 本堂
- 参加料 700円(中学生以下無料)

暑い日差しの中、がんばって歩いた二日間 子どもたちの巡礼の旅「さくら祈願」無事執り行いました

昨年「百螺祈願」のルートを子どもたちが歩く「泊二日の旅」「さくら祈願」。二回目となった今年も無事、三月三十一日、四月一日に行われました。



昨年来てくれた子どもも多く、集合時間には、「今年も会えた!」と笑顔がこぼれるシーンも。子どもたちは暑い日差しの下、阿蘇神社周辺に加藤神社周辺を無事歩ききりました。旅の終わりは、菩提樹苑にてバルントスと醍醐の桜を眺めつつのお花見。旅の始めと比べ、一回りも二回りも成長した子どもたちの姿が見られました。

朝早い集合。緊張の面持ちに

第一日の集合時間は朝八時。七時過ぎから続々と子どもたちが集まりました。全員が慣れない場所、慣れない衣装に緊張の面持ちを見せました。本蔵院で出立式を行った後、バスに乗り込み出発。親元を離れて泊まる経験自体が初めてという子どももいて、親御さんは不安そうに手を振っておられました。

汗びっしょりの阿蘇路

今年天候に恵まれ「すぎ」た二日間でした。夏を思わせる天候で、子どもたちも汗びっしょり! 何度も「あとどれくらい?」とたずねる声が続きました。お互いに励まし合い、水分補給をしながら歩きました。

バスの中では、お経についての勉強や、一昨年行った「百螺祈願」の話などを行い、「いよいよ始まる」という期待感に包まれました。

非日常の「無言の食事」

旅館での夕食、朝食は皆で「無言の食事」に挑戦しました。配膳から子どもたちで行い、食事の挨拶以外は一言も発しません。普段の食事と全く違うからか、緊張して思うように食べられず泣き出してしまったりもしていました。しかし、この非日常の体験が、食や普段の生活の「有り難さ」について感じる経験になったことと思います。

願いを込めたお守りづくり

一日目の夜、レクリエーションの時間には、みんなでお守りを作りました。「お金持ちになりたい」「ピアノが上手になりたい」、あるいは「熊本が復興しますように」といった願いごとを紙にしたため、丁寧に畳んでお守り袋へ。また、桜の木で作った珠を三つ、一箱に袋の中に入れました。この珠は、来年以降のさくら祈願でも少しずつ参加者に配る予定です。六年生になったら、この珠を使ったお数珠が完成します。全員のお数珠が出来上がる日が楽しみです。

心に刻んだ「二礼二拍手一礼」

二日目もいい天気! 旅館からバスで一路熊本へ。加藤神社では、復興に向け工事が進む熊本城を眺めつつ、桜の洒水を行いました。名譽宮司による熊本城についての講話に耳を傾ける時間も。その後、菩提樹苑に歩いて移動。最後の難関、急な坂道も皆元気に歩ききりました。桜に洒水をし、鐘を撞いて旅の行程は終わりました。鐘楼堂では護摩が焚かれ、それぞれの願いを書いた護摩木を焚き上げました。また、全員でバルントスも行いました。

親が思う先を、子どもは歩いている

二回のさくら祈願を引率して感じるのには、「子どもは、親が思うよりもずっと成長している」ということです。多くの親御さんが「うちの子は甘えん坊だしいじょうぶかな」と心配をされていましたが、子どもたちはしっかり考え、行動していたように感じます。親の方が先回りして、子どもの行動に制限をかけているのかもしれない。大らかに「行っておいで!」と送り出す勇気が、親には必要だと感じた今年のさくら祈願でした。

「さくら祈願」へのご寄進 多くの方にご協力いただきました

前号の数々修習の紙面にてお願いしました、「さくら祈願」に対するご寄付のお願いは、左記の通り多数の方々のご志によって充分なるご支援を賜りました。

さくら祈願 御寄進者名

- | | | |
|--------|---------|------------|
| 金一封 | 金伍千円 | 金参千円 |
| 本蔵院 | 手嶋美津枝様 | 宮成悦子様 |
| 金伍万円 | 木村光宏様 | 日高アサ子様 |
| 藏本崇正 | 真部征司様 | 坂田 勲様 |
| 金伍万円 | 土屋善八郎様 | 中村明美様 |
| 三角ミチ子様 | 曲淵成彰様 | 谷脇ユミ子様 |
| 金四万貳千円 | 西山央佑子様 | 佐々木志貴様 |
| 和田隆文様 | 松永千咲様 | 岡崎修一様 |
| 金参万円 | 松本 恵子様 | 岡田 宏様 |
| 藤原 綾子様 | 濱田勝彦様 | 堀 寧子様 |
| 金貳万円 | 川並 剛様 | 出田 容子様 |
| 平澤 正三様 | 松尾 節子様 | 松本 恵子様 |
| 田尻 淳一様 | 市原 澤子様 | 松田 裕貴様 |
| 金壹万円 | 高橋ノブ子様 | 亀田 裕貴様 |
| 市原 澤子様 | 森口チヨ子様 | 工藤 綾子様 |
| 別府 統務様 | 河元 隆信様 | 中村 恵子様 |
| 森山 倫子様 | 喜多 濱子様 | 江崎 敏之様 |
| 大西 伸夫様 | 野村昭夫子様 | 河野 由子様 |
| 平井 浩郎様 | 高森 毅様 | 今井 幹雄様 |
| 長田 信子様 | 大保ゆみ子様 | 田代 加代様 |
| 藏本 慧亮様 | 金澤 英人様 | 草野 健様 |
| 池田 和隆様 | 丸山小夜華様 | 中村 早苗様 |
| 中嶋 孝之様 | 金山 正行様 | 石川 正行様 |
| 吉岡アヤ子様 | 吉村ハルエ様 | 久保 芳子様 |
| 金六千円 | 吉村 宮子様 | 原 昭二様 |
| 宮田ひとみ様 | 中村さつき様 | 高岩 頭一様 |
| 横田 易様 | 土橋 潔様 | 木場 邦子様 |
| 金伍千円 | 中村千鶴子様 | 平山 千晴様 |
| 岩永 節子様 | 横山 正子様 | 興 裕 未安様 |
| 山村ハル子様 | 藤山 美津子様 | 緒方スマ子様 |
| 宮村石村店様 | 小原山登 那様 | 坂東トシ子様 |
| | 山下 敏春様 | 堂園 正守様 |
| | 堀 郁雄様 | 金式千円 |
| | 鍋島 嘉子様 | 田尻 宗良様 |
| | | 岩永 清美様 |
| | | 参加保護者一同 |
| | | 本蔵院職員一同 |
| | | 善男子善女人 願不同 |

